

# 秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略検証委員会における意見と対応について

- 1 秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略検証委員会について  
第2期秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗管理に当たり、外部有識者から意見を聴取し、前年度までの実績に関する効果検証と、今後の見直しについて検討する。
- 2 主な意見と市の検討内容および結果について  
同委員会における各進捗状況等に対する委員の意見と本市の対応等を整理した。

## 第2期秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

No.	意見内容	対応結果	担当部局
1	<p>コロナ下において、保健所業務等が逼迫していると思うが、ウィズコロナの観点から、保健所以外の9か所の窓口において、保健所とのオンライン面接は無理がない範囲で行えると考えます。</p> <p>同窓口、相談コーナーやPC、通信回線等は必要となるが、オンライン面接を実施することができれば、面接率は必ず向上すると思う。また、その際にプチギフトの案内を行うなど、保健所への来所を促し、対面での面接につなげることも重要だと考えているので、是非とも検討してほしい。</p>	<p>令和5年度からの伴走型相談支援および出産・子育て応援給付金の一体的な実施にあたり、ネウボラでの妊娠届出時の面接で給付金の申請受付を行い、面接率の更なる向上に向けて取り組んでいくこととしています。</p> <p>引き続き、オンライン面接などの手段を含め、面接率向上の取り組みについて検討してまいります。</p>	子ども未来部
2	<p>あきた結婚支援センター登録会員における婚姻数について、目標達成のための企業側の支援策の一つとして、未婚の社員に対してのイベント案内や周知により、イベントへの参加機会を増やすことが挙げられる。</p> <p>結婚が目的となると参加しづらくなる傾向があるため、例えば竿燈まつりなど、人との交流機会が多いイベント等の開催を増やしてほしい。</p>	<p>令和4年度新規事業として実施した「あきた婚活レッジ」を、令和5年度も継続して実施する予定としております。</p> <p>本事業は婚活の個別セミナーやイベントの体験講座を行い、出会いの場へ一歩踏み出すきっかけをつくることを目的としており、実施状況や課題、参加者の意見を踏まえ、より参加しやすいイベント等の開催を検討し、出会いや結婚を希望する方の支援に努めてまいります。</p>	子ども未来部
3	<p>文化施設があるエリアで、食が存在すると必ず人が集まり、地域の活性化につながると思うので、コロナ下であっても定期的に開催することで、文化施設の観覧者数等が増えるような環境を構築してほしい。なお、駅前から続く通りには商店が少ないと感じており、長期ビジョンとして広小路の再開発につながるようなイベントになれば良いと考えており、食文化を取り入れることで芸術文化ゾーンの更なる発展につながると思っている。</p>	<p>令和4年7月および9月に開催された広小路バザールの開催経費の一部を補助したほか、秋田駅ぼぼろ一どでは、東北絆まつり2022秋田の開催に合わせた物販イベントの実施や、全12回の地産地消直売会を開催しました。また、中心市街地内の空き店舗や空きテナントへの出店に対して改装費等の一部補助や低利な融資あっせんを行っております。</p> <p>今後も区域内のにぎわい創出や商店増加に努めてまいります。</p>	産業振興部
4	<p>「秋田市の魅力を市外の人におすすめ・発信している人の割合」について、秋田市観光口コミ大使や秋田県産業サポータークラブ、県外で活躍している秋田にゆかりがある方々などと連携すれば情報発信のチャンネルが増えていくと思うので、連携して取り組んでほしい。</p>	<p>本市では、秋田市公式Instagram写真展の開催や市内企業との連携による中学生提案のブランドメッセージの発信など、市民や帰省者、観光客などに本市の魅力をPRしてきたところであります。こうした取組を通じ、まちへの誇りや愛着が醸成され、ファンが増えることで、本市の魅力が市外にもより広く発信・拡散されることを期待しているところであります。</p> <p>次年度以降も、こうした取組を継続するとともに、本市にゆかりのある方々とも種々の機会を捉えた連携を図ることで、本市のさらなる魅力発信につなげてまいります。</p>	企画財政部

No.	意見内容	対応結果	担当部局
5	<p>「年間バス利用者数」について、今後における公共交通のあり方などの検討を進めていると思うが、検討状況が見えない。また、利用者側から見て、老朽化した車両は利用する安心感が生まれなため、利用を促すための安心感をもっとPRしていく必要があると考える。</p>	<p>将来にわたり持続可能な公共交通サービスの実現のため、第3次公共交通政策ビジョンに基づき、外部有識者や交通事業者等との連携のもと、望ましい公共交通網に関する調査・研究を継続して行っているほか、人の移動データ等をもとに路線網の再編や実証運行など具体的な検討を行っているところであります。検討状況については、今後、検討がある程度進んだ段階においてお示しできるものと考えております。</p> <p>また、バス利用にあたっての安心感について、バス事業者は安全な車両での運行を行っているところですが、利用者が不安を感じることはないよう、必要な整備を行うよう働きかけるとともに、利用促進をPRしていくにあたり、その点も考慮してまいります。</p>	都市整備部
6	<p>「市内大学卒業者の市内就職率」について、ここ10年、20年新卒採用市場は厳しい状況である。自身も、採用活動で県外の大学を訪問してきたが、秋田市にある企業や住みやすさについて知らない学生が多いことがわかった。今も、新卒採用の多くは県外在住の秋田出身者であるが、採用活動を続けてきたことで学生側の秋田の住みやすさなどに対する理解が進み、最近では県外出身者からの問い合わせも増えている。指標は市内大学生が対象であるが、県外に出た学生を呼び戻すほうが効果があると思っているので、そういった取組を検討してほしい。</p>	<p>秋田県ふるさと定住機構等と連携したAターンフェアは、コロナの影響でオンラインのみの開催が続いておりましたが、3年振りに対面での開催が実現し、お盆や年末の多くの学生が帰省するタイミングに合わせて秋田で開催したほか、東京でも3回開催し、県内企業とのマッチングの機会を創出しました。</p> <p>また、本市が主催する企業研究会では、県外学生も参加できるよう、オンライン開催も行いました。</p> <p>今後もハローワーク秋田や県、関係団体と連携しふるさと回帰の促進を図ってまいります。</p>	産業振興部
7	<p>企業との連携方法について、商工会議所や業界団体を窓口として取り組んでほしい。民間企業は、企業間で連携し様々な事業を行っており、行政側が個別にアプローチするとうまく展開されないことがあるため、業界全体の動きを把握している各業界団体や商工会議所や対してアプローチしてほしい。</p>	<p>商工会議所、商工会および各業界団体等と連携し、要望を取り入れながら産業振興施策を展開しているところであり、今後も各団体を窓口としながら、企業との連携強化に努めてまいります。</p>	産業振興部
8	<p>新型コロナウイルス感染症の影響について、影響を強く受けているもの、関連して影響を受けているものなど、峻別を整理したほうが良い。</p> <p>また、C評価であり現状分析で順調に進捗しているとしている指標について、なぜそうなっているのかわかりやすい説明があれば良い。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症など進捗に影響を与える外部要因があった指標については、今後において、影響内容等について詳細な分析や説明ができるよう努めるとともに、進捗状況を客観的に判断できるよう努めてまいります。</p>	企画財政部